

ベンケイソウ科 キリンソウ属

コモチマンネングサ (子持ち万年草)

Sedum bulbiferum Makino

自生環境

水田、野原、湿地 など

原産地

日本在来

生育を脅かす要因



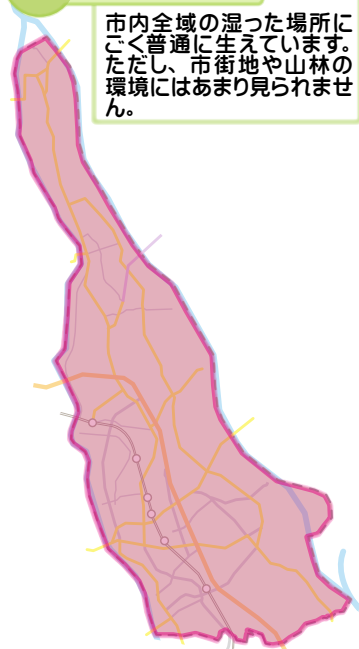
水田での除草剤散布、沼の埋め立て、畦畔の過度な防草は、コモチマンネングサの生育にとって大きな脅威となります。あれ、いつの間に全滅？とならないようにしたいところです。

特徴

- ☆ やや湿った日当たりの良い場所に生育します。特に水田のあぜや沼べりなどに多く見られる傾向があります。茎や葉は分厚く水分を蓄える構造になっているため、乾燥にもよく耐えます。
- ☆ 葉は小さくて丸っこく厚みがあります。株はぶちぶちとちぎれやすいのですが、ちぎれた枝からも簡単に発根して復活することができます。屋上緑化などに使われる多肉植物のセダムと同じ仲間です。
- ☆ 初夏に黄色い花をいくつも咲かせます。ただしタネはできません。花後に果実っぽいものがありますが、次第にしぼんでいき、脱落してしまいます。

市内の分布状況

市内全域の湿った場所にごく普通に生えています。ただし、市街地や山林の環境にはあまり見られません。



タネの代わりに…

タネができない代わりに、花後、葉のわきにくつもの子株をつくります。この子株は成熟すると親株からぼろっとはずれて、土の上に落ちます。やがて発根し、そこから新しい株として育っていくのです。コモチマンネングサの子持ちは、この様子から来ています。親株は、子株が成熟すると枯れてしまいます。子株から育った苗が越冬して、翌年花を咲かせるのです。



多肉植物で、葉は分厚い



花は黄色で花びら 5 枚、おしべ 10 本



果実はこの後しぼんでタネはできない



花の後、葉わきの子株ができてこれで落ちて増えていく



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

